

食育推進プロジェクト実施報告書

支部名 大阪支部

実施担当会員社名	赤松種苗株式会社	
実施校名	大阪市立栄小学校 <u>5年生</u> <u>1クラス</u> 合計 <u>25名</u>	
実施期間	平成 <u>21</u> 年 9月～12月	
栽培品目（品種）	カブ（天王寺カブ）ナニワ伝統野菜	
提携協力先		
実施概要	時期	内容
	9月18日	春の勝間南瓜の調理実習時、カブの栽培講習を実施 播種 間引き（除草を兼ねて） 収穫と調理（簡単に塩もみしたものを）
	10月5日	
	10月27日	
	12月17日	
学校からの評価	学校行事との兼ね合いで食育授業に多くの時間を割くことができず 申し訳なく思います。	
児童からの声	各自家に持ち帰り、各家庭で調理し、美味しかった。	
実施担当者の感想 今後の課題・要望	学校行事等で担当教諭が忙しく、南瓜程うまく訪問が出来ず残念だった。	

食育推進プロジェクト実施報告書

支部名 大阪支部

実施担当会員社名	高田種苗株式会社	
実施校名	大阪市立豊崎小学校 <u>5、6年生</u> <u>2クラス</u> <u>合計 48名</u>	
実施期間	平成 21 年 9 月～12 月	
栽培品目（品種）	カブ（天王寺カブ）ナニワ伝統野菜	
提携協力先		
実施概要	時期	内容
	9 月 10 日	播種実習
	栽培期間を通し 2～3 週間毎に 訪問	栽培管理指導（主に担当教諭に対し）
	12 月 6 日	調理実習（通常の家庭科授業の中で天王寺カブを調理、メニュー：カブの薄切りの炒め物、葉の部分の甘辛炒め、カブのサラダ）
学校からの評価	カブの栽培の手順や難しさを経験をすることができた点は有意義であった。休日や臨時休業があり、生育に合わせた世話をタイムリーに十分にすることができなかった。レクチャーを頂いたり、指導を受けながら、一緒に作業をするという時間設定が学校行事との兼ね合いもあって難しかった。	
児童からの声	小さい種のひとつひとつが発芽し、間引かれて収穫することを学んだ。新鮮な根菜には自然な甘みがあり、おいしいことが分かった。プランターでのカブの栽培は難しかった。	
実施担当者の感想 今後の課題・要望	<p>今回の食育授業に対する学校側の理解が充分ではなく、授業時間自体を割いてもらえず、子供達に十分に野菜を育て、食することの楽しさを伝えることができたかやや不安が残る。</p> <p>私の授業実施手法そのものにも不慣れな部分があり、満足の行く授業ができたかどうか。</p> <p>今後は、学校側への事前説明に十分に時間をかけ、十分に理解を頂いた先で、本授業を実施する必要がある。また、相手が小学生であるだけに、授業の実施手法についても一層の向上が求められる。</p>	